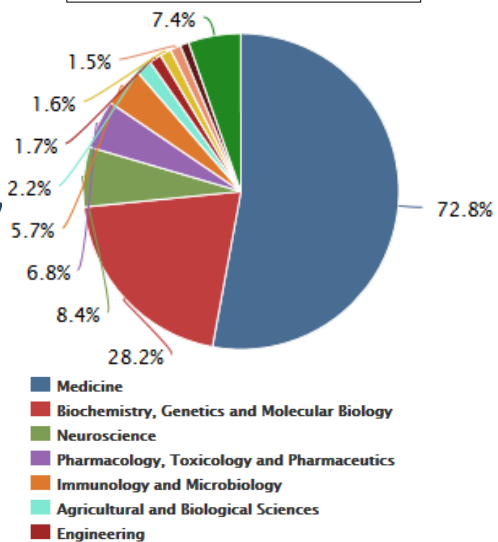


旭川医科大学の論文分野分析



- Scopusの機能紹介
- 私のお勧め本  
「数学者の言葉では」 渡部 剛 教授
- 図書館からのお知らせ  
本屋にない本 / 試験期の特別利用が始まります ほか

## Scopusをもっと使ってみませんか。

本学で契約している文献データベースScopusをお使いでしょうか？医学文献を探す際には、PubMedの検索で充分ですが、Scopusは、文献検索以外にも多くの機能がありますので、簡単にご紹介します。

これらの分析は、全てScopus収録の論文が元になっています。収録されていない日本語論文等は分析の対象とはなっていません。

**① Scopusの入り口は、図書館HPの「文献・情報検索」の項目にあります。**

**② 最初の画面はこんな感じです。日本語で書いてありますので、わかりやすいですね！**

**③ 所属機関検索**

「所属機関検索」を選択し、名称等で研究機関・大学を検索・選択すると、組織毎の論文の傾向分析を見ることができます。

どこの機関との共著が多いのか、どの雑誌の掲載論文が多いのかなどのリストが出てきます。また、論文の分野別分析を円グラフで見ることができます。  
※本学の円グラフは右上の「旭川医科大学の論文分野分析」を参照

共著機関	文獻数	著者数	特許件数
Hokkaido University	296	116	116
Hokkaido University School of Medicine	175	111	111
Kyoto University	136	98	98
Osaka University Faculty of Medicine	118	94	94
University of Tokyo	115	92	92

**④ 著者検索**

「著者検索」では、特定の研究者の詳細を知ることができます。

著者の論文数、それらの論文がいつ、何度引用されたか、などの情報を見ることができます。

自分の論文を調べた際に、自分ではない論文が混在するなど、正しく反映されていない場合は、「著者プロフィールの修正を依頼」をクリックしてScopusに連絡してください。

**⑤ ジャーナル比較**

オススメは、「ジャーナル比較」です。自分で選択した複数の雑誌を様々な観点で比較することができ、論文投稿先を検討する際の参考情報となります。

タブの中から、③「所属機関検索」④「著者検索」また、右端の⑤「ジャーナル比較」をご紹介します。

年間の収録論文数や、被引用数の他、SJR、IPP,SNIPなどの分析指数でも比較できます。それがどのような数値なのかはカーソルを合わせると、日本語の説明を読むことができます。→

SJR IPP SNIP 被引用数 文獻数 被引用数0の文獻(%) レビュー論文(%)  
IPP = Impact per Publication は、ジャーナルの1つの論文が平均で何回引用されたかを示す指標です。



医大や医学部は自動車学校と同じく、免許を取るという明確な目標がある。ただ、免許を取った後の人生設計については、意外と選択肢が少ない。学部卒業を控えたM5の終わり頃に、医者になるという当たり前の進路に漠然と違和感を感じていた私は、この藤原正彦さんの「数学者の言葉では」という本に出会った。

藤原さんは、当時、処女作の「若き数学者のアメリカ(これも好著)」という留学体験記が評判になった新進気鋭の数学者で、本書は数学を中心とした学問のこと、日米の文化の違い、折々のできごとなどを題材とした2冊目のエッセイ集である。

特に進路の転機にあった私の心に響いたのは、冒頭の「学問を志す人へーハナの手紙」と巻末に近い「数学的センス」の2本である。前者で藤原さんは学問を志す人に必要な性格条件として、「知的好奇心が強いこと」、「野心的であること」、「執拗であること」、「楽観的であること」の4つを挙げている。また、後者では、数学的なセンスを「洞察型センス」、「触覚型センス」、「情緒型センス」の3つに分類し、これらの資質やセンスがどのようなもので、なぜ学問的な業績を上げるために必要であるのかを明快に説いている。藤原さんは数学者だけあって物事の本質を抽出する力に長けており、さらにそれを鮮やかにカテゴライズして必要十分な形に納める文章の技が見事である。ここでは残念ながら紙幅の関係で詳しく語ることはできないが、これらの「条件」や「センス」が大きなヒントとなり、大学院に進み研究者の道に入るかどうか迷っていた私の背中を強く押してくれた。

もう30年以上も前のエッセイであるが、この本は今でも時々読み返している。医大を卒業して医療職に就くというありきたりの進路に疑問を感じている方に、是非読んでいただきたい1冊である。

数学者の言葉では / 藤原正彦著  
図・2F文庫新書コーナー BS/Sug

## 図書館からのお知らせ

研究者向け資料を所蔵しました。

—本屋に無い本—



The New England Journal of Medicine は、論文が掲載されるのがとても困難な雑誌です。この雑誌に論文が掲載された日本人著者の体験談の冊子が図書館に入りました。

査読者とのやり取りはどのようなものか、掲載後の反響は、などなかなか得られない情報が満載です。NEJMだけではなく、海外の学術雑誌への投稿を目指す方にお勧めです。

私の論文が『NEJM』に載ったときの話  
図・2F開架/医学専門 WZ/345/Wat

今日は、学生さんが夏休み中なので、研究者向けの記事が多めなのです！

文献受取り用ロッカー(校費用)ご利用ください。

図書館カウンターの脇に白いロッカーがあるのを皆さんご存知ですか？

これは、校費で学外文献複写を依頼された先生方が、閉館中も文献を受け取れるように設置した専用のロッカーです。夜間でも受取りが可能となりますし、特に図書館が17時で閉館する夏休み等の休業期間は大変便利です。

お申し込みは、ご依頼のときに併せて「ロッカー受取り希望」と伝えていただくだけ！どうぞご利用ください。



## 試験期につき、特別利用の対象が拡大します

8月22日(月)から9月29日(木)まで、試験期として特別利用が全学年対象となります。(申請者対象) また、南棟も利用範囲となります。

図書館利用の際は他の利用者の迷惑とならないようにお願いします。

- ・試行対象外の容器のドリンク禁止→紙パック・コップ類は禁止です。
- ・食べ物厳禁→お菓子・パンなどを食べる時は、自動ドア外のホールをお願いします。アメやガムも館内では食べられません。
- ・勉強以外のおしゃべり禁止→たとえディスカッションスペースでも周囲の迷惑とならないようにしてください。

## 特例として特別利用が可能です

8月15日(月)から一部の学年の授業が始まることから、15日閉館時(17:00)より全学年が特別利用できることとします。

ただし、南棟は対象外です。授業の後も図書館をご利用ください。

## 特別利用説明会について(最終)

特別利用説明会にやむをえない事情で参加できなかった方を対象に、**8月23日(火)**に説明会を実施します。今年度の説明会はこの回で最終となります。11月から2月までの試験期前には説明会は実施しませんので、今年度の特別利用を希望する学生さんは学生証を持って参加してください。8月23日の説明会の詳細は、別途学生用メールでお知らせします。

## 次号特別号のお知らせ

次号では、「**図書館特別利用短縮のなぜ**」を特集します。どうして深夜1時から6時までを閉館としたのか、疑問に思われている方は、是非お読みください。